

## 台風第26号による地理空間情報の公開 Public presentation of the Geospatial information by Typhoon Wipha(1326)

地理空間情報部 災害対策班  
Geospatial information Department Disaster Countermeasures Group

### 1. 地理空間情報部の主な対応

地理空間情報部では、被災地区における既存の空中写真を関係機関提供用として準備し、合わせて、地理院地図から災害情報共有マップとして撮影した空中写真等の地理空間情報を公開した。

### 2. 既存空中写真を関係機関に提供

国土地理院が、これまでに撮影した大島町の既存空中写真 309 枚を準備し、防災推進室から関係機関に提供した。

### 3. 災害情報共有マップによる地理空間情報の公開

10 月 16 日に、地理院地図において災害情報共有マップを構築し、関連情報を公開するためのサイトを準備した。

#### 3.1 10 月 16 日に公開した地理空間情報

##### 3.1.1 10 月 16 日に撮影した斜め空中写真 12 枚

撮影した地点をカメラ方向のアイコンで表示し、そのアイコンをクリックすることにより斜め空中写真が表示される。(図-1)

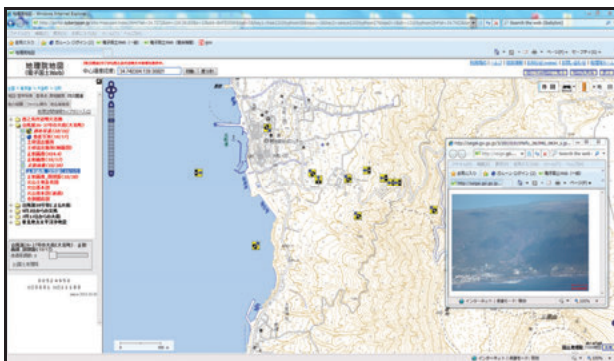


図-1 10 月 16 日に撮影した斜め空中写真の公開

##### 3.1.2 土砂流失箇所

10 月 16 日に撮影した斜め写真から判読した土砂流失箇所(速報暫定版)。なお、土砂流失箇所については、応用地理部にて判読し、その都度更新し、常に最新の情報を配信した。(図-2)

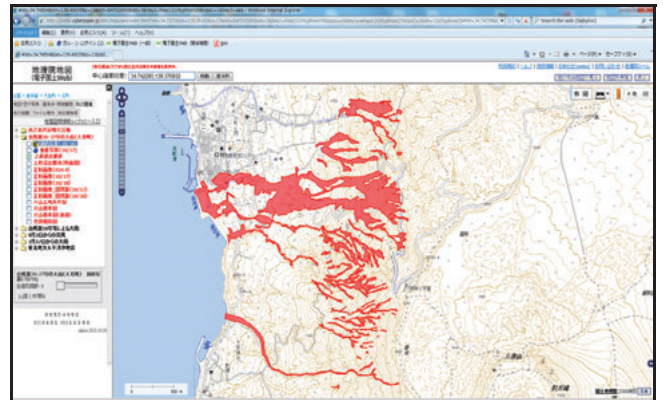


図-2 土砂流失箇所(赤で囲まれた範囲) 10/31

#### 3.2 10 月 17 日に公開した地理空間情報

##### 3.2.1 10 月 17 日に撮影した空中写真 241 枚

垂直写真の主点(航空機が撮影した場所)情報を表示させ、そのアイコンをクリックすることにより垂直写真が表示される。(図-3)

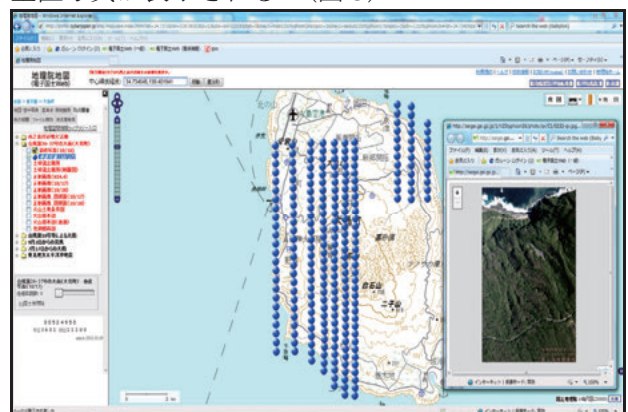


図-3 10 月 17 日に撮影した垂直空中写真の公開ページ

### 3.2.2 火山基本図「伊豆大島 I・II」(平成 18 年測量)の地理院タイル

火山基本図の地理院タイルと合わせ、背景を透過させたタイルも作成した。この透過させた火山基本図を上載せした際に下層のデータが透過し閲覧できる。(図-4 及び図-5)

※地理院タイルとは以下のサイトを参照

<http://portal.cyberjapan.jp/help/termsfuse.html>

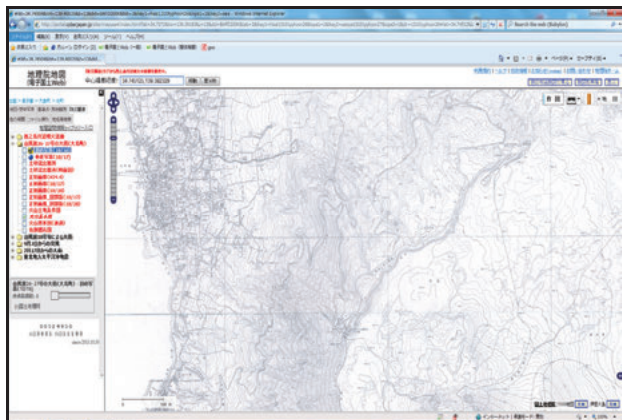


図-4 火山基本図(背景色白版)

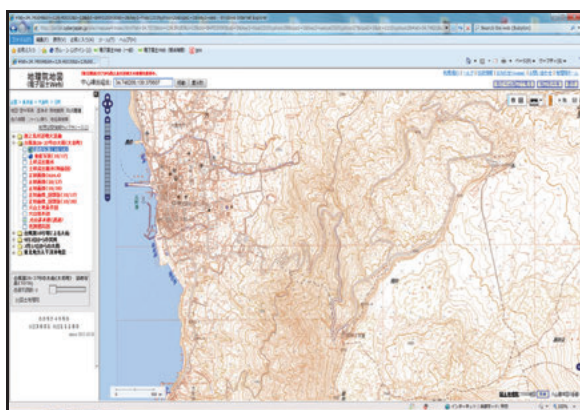


図-5 火山基本図(背景色透過版)

### 3.2.3 火山土地条件図「伊豆大島」(平成 17 年測量)の地理院タイル(図-6)

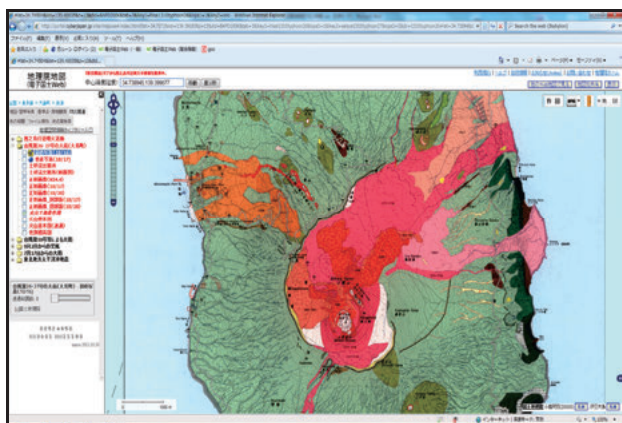


図-6 火山土地条件図

### 3.2.4 平成 24 年 4 月に撮影した正射画像の地理院タイル(図-7)

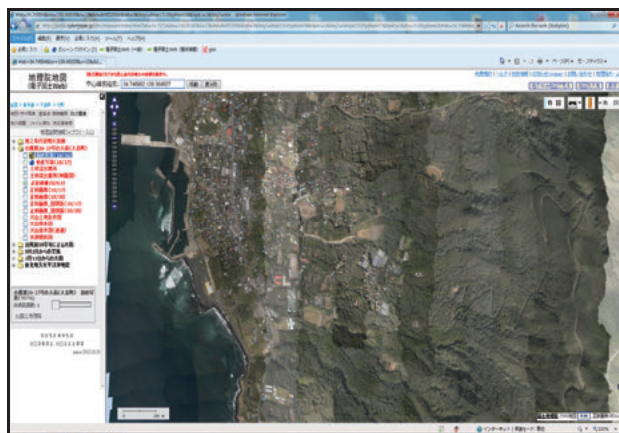


図-7 平成 24 年 4 月撮影の正射画像

### 3.3 10 月 18 日に公開した地理空間情報

#### 3.3.1 10 月 17 日に撮影した正射画像\_図郭版 98 面(図-8)

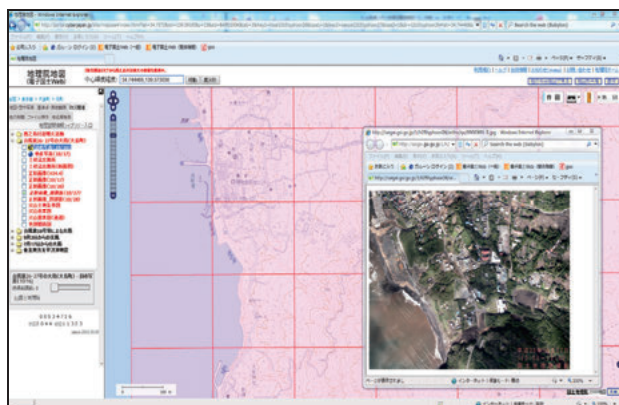


図-8 10 月 17 日撮影の正射画像\_図郭版

#### 3.3.2 10 月 17 日に撮影した正射画像の地理院タイル(図-9)

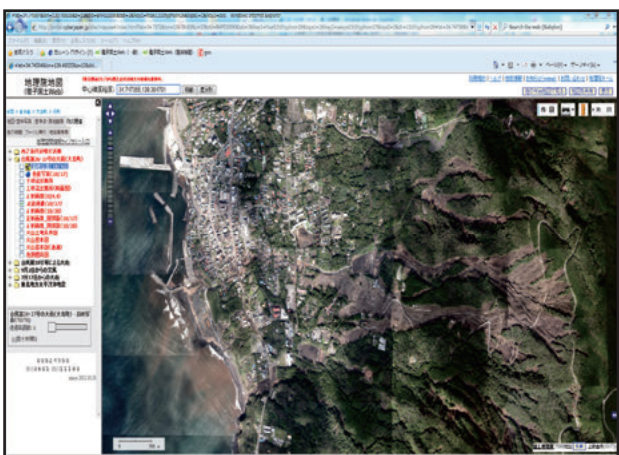


図-9 10 月 17 日撮影の正射画像

### 3.3.3 色別標高図（図-10）

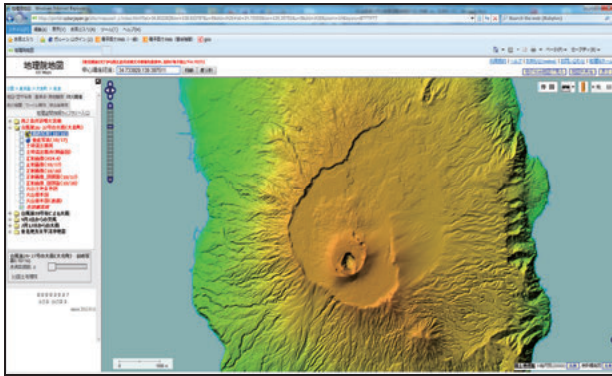


図-10 色別標高図

### 3.4 10月22日に公開した地理空間情報

#### 3.4.1 土砂流失箇所地形断面図（図-11）

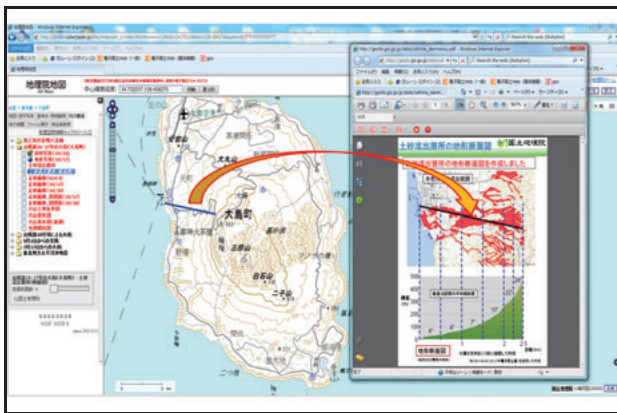


図-11 土砂流出箇所地形断面図

### 3.5 10月30日に公開した地理空間情報

#### 3.5.1 10月28日に撮影した、正射画像\_図郭版 150面と正射画像の地理院タイル（図-12）

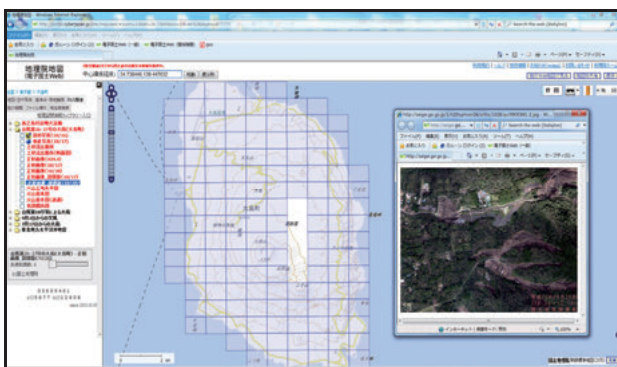


図-12 10月28日撮影の正射画像\_図郭版

#### 3) 10月28日に撮影した垂直写真

### 5. その他

地理院地図からの災害情報共有マップにより、災害に関連する様々な地理空間情報を公開した。

その結果、地理院地図へのアクセス数は平常時の1.5倍に増加した。

また、地理院地図での公開により、被災前と被災後の正射画像を重ね合わせ、透過機能で比較することにより被害状況の把握等に役立っている。なお、地理院地図での使用方法については「平成25年（2013年）台風第26号及び第27号による大雨に関する情報」ページに掲載した。

（公開日：平成26年3月3日）

## 4. 関係機関との情報共有

関係機関との災害情報の共有を図るため、行政機関サイトを構築し、「3.」と合わせ、以下の情報も掲載した。

- 1) 3月10日に政府調査団が撮影した現地写真
- 2) 10月18日に関東地方整備局が撮影した動画と現地写真